

# 大野城市 議会だより

2026 令和8年  
No.173  
発行 大野城市議会  
編集 広報委員会  
令和8年5月15日

3  
3月定例会



わが街  
大野城



## 主な記事

- 令和8年度一般会計予算 ..... P2～3
- 一般質問 ..... P11～16
- 3月定例会 ..... P4～5
- 特別委員会（給食） ..... P16
- 委員会レポート ..... P6～8
- 1月臨時会 ..... P17
- 代表質問 ..... P9～10

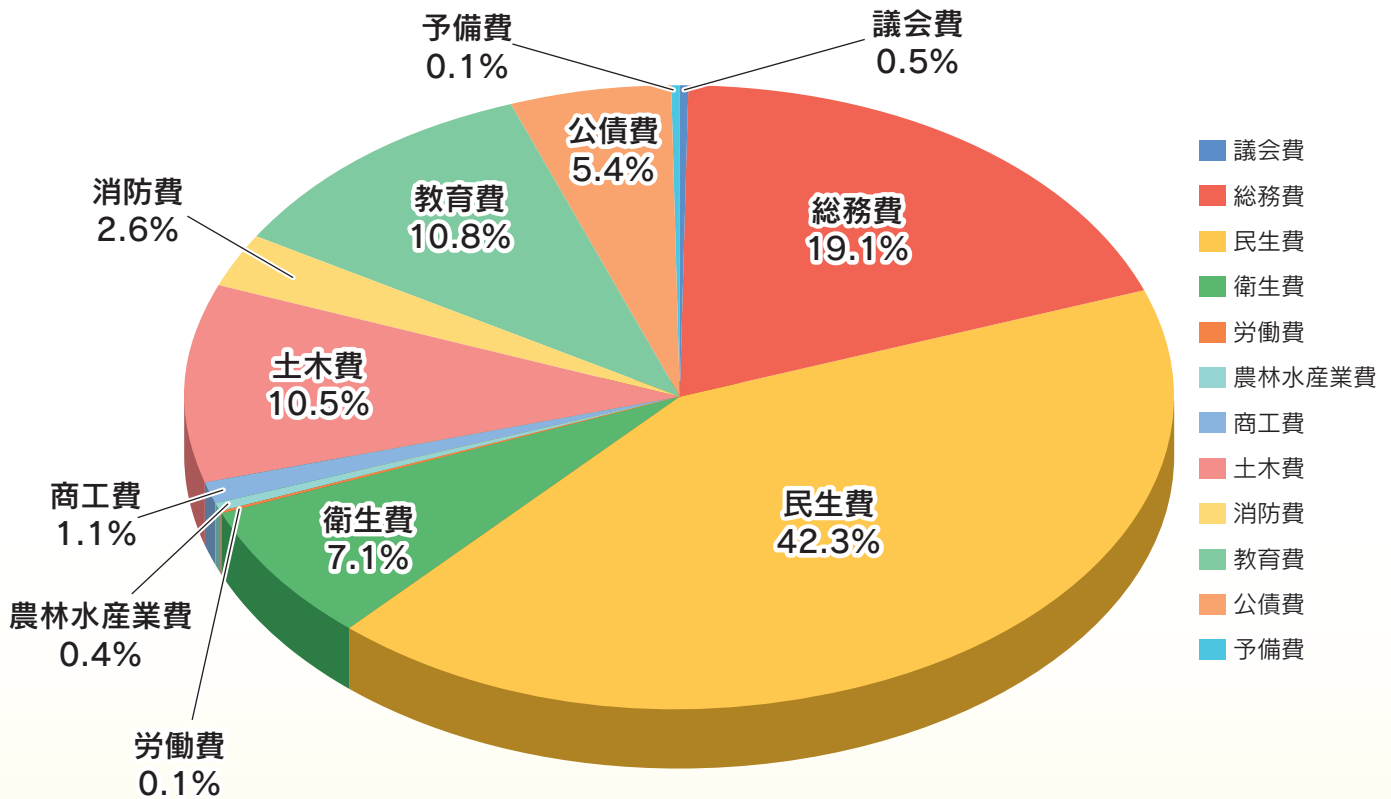
市民とともに歩む議会だより

次号174号  
令和8年  
8月15日発行

あなたの写真で  
議会だよりの紙面を  
飾ってみませんか？  
(締切り 6月30日)

# 令和8年度一般会計当初予算

## 歳出総額516億7000万円



## 新規事業 & 主要事業

### **新** 小学校校内サポートルーム設置運営事業

**4015万円**

学校への行き渋りや、学級に入りづらさがある児童に対して、安心して過ごせる場所を提供し、不登校の未然防止と学級復帰に向けた支援を行うため、全ての小学校内に設置します。

### **新** 終活サポート事業

**548万円**

死後の葬儀や家財処分等に不安を抱える高齢者に対し、自分らしい生き方や最期の迎え方の実現を包括的に支援するため、死後の事務に関する相談や支援をワンストップで行える相談窓口の設置の他、エンディングノートの作成・配布などを行います。

### **新** 感震ブレイカー及び家具転倒防止器具設置補助事業

**150万円**

地震発生時の宅内被害を軽減するとともに、市民の防災意識向上を図るため、設置費用(感震ブレイカー上限額8千円、家具転倒防止器具上限額6千円)の補助を行います。

### **主** 地域公共交通計画推進事業

**1億6858万円**

将来の人口減少及び高齢化社会の進展を見据え、利用しやすい公共交通ネットワークの構築を図るため、コミュニティバス(まどか号)の運行や、西鉄春日原駅への乗り入れ等を行うための整備を行います。

# 拡大事業・継続事業

## 拡 不登校支援事業

不登校状態にある児童生徒の学校復帰などに向けた支援の充実を図ります。不登校対策サポートティーチャー等の配置を行うとともに、学校生活等における児童生徒、保護者、教職員が抱える心理的問題の解消を図るため、スクールカウンセラーの時間を拡充します。

## 拡 認可保育所等保育士確保事業

保育士の安定的な確保や離職防止、年度途中の待機児童や未入所者の解消を図るため、市内在住の保育士に対する家賃補助のほか、令和8年度から市内の認可保育所等へ新規採用された保育士へ就職支援給付金（20万円）を支給します。



## 拡 コミュニティ構想推進事業

公民館等の利便性の向上や、公民館等の利用促進および多世代交流を推進するため、28の公民館及び2つの集会所に利用者が利用できるフリーWi-Fiの環境を整備します。

## 拡 福祉タクシー料金助成事業

外出が困難な重度の障がいのある方を対象に助成しているタクシー券の配布枚数の上限を、一人当たり72枚とし、一度の利用可能枚数も現在の「2枚」から「3枚まで」に利用を拡大します。



## 拡 医療的ケア児・者日常生活支援事業

在宅の医療的ケア児・者の介護や看護を担う家族等の負担軽減を図るため、自宅で訪問看護を利用した際の一年度当たりの上限利用時間を、48時間から96時間に拡充します。

## 継 学びの多様化学校設置運営事業

不登校や学校に行きづらさを感じる生徒に対して、個々のペースや特性にあわせた学びの場の提供を行い、生徒に配慮して編成した特別の教育課程に基づき、一人ひとりに寄り添った支援を行う「大野城市立みずほ中学校」を4月に開校しました。



## 継 带状疱疹予防接種事業

過労やストレスなどによる免疫低下等が原因で带状疱疹の発症率が高くなる50歳以上の方へ予防接種の費用を助成する事業を継続します。



## 拡 総合公園等維持管理事業

総合体育館等の利用促進を図るとともに、安全かつ安心して利用出来る環境を維持するため、令和8年度から令和9年度にかけて総合体育館内の競技場、武道場等における内装改修及び空調設備の設置等の大規模改修を行います。

# 3月定例会

令和8年3月定例会を2月19日(木)から3月18日(水)まで開催  
35の案件を審議し、全ての案件を可決、同意、承認しました。  
審議結果の採決の様様は大野城市議会ホームページ「令和8年第2回3月定例会」  
(右の二次元コード)から映像を見ることができます。



## 審議結果一覧

令和8年3月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会	議決月日
第2号議案	大野城市ハラスメント根絶条例の制定について	全会一致可決	総務政策委員会	R8.3.18
第3号議案	大野城市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R8.3.18
第4号議案	大野城市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R8.3.18
第5号議案	大野城市職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例の制定について	//	//	R8.3.18
第6号議案	大野城市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R8.3.18
第7号議案	大野城市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R8.3.18
第8号議案	大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数可決 (賛成16・反対1・退席2)	//	R8.3.18
第9号議案	大野城市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	全会一致可決	福祉教育委員会	R8.3.18
第10号議案	大野城市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R8.3.18
第11号議案	大野城市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R8.3.18
第12号議案	大野城総合公園の管理に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R8.3.18
第13号議案	大野城市犯罪被害者等支援条例の制定について	賛成多数可決 (賛成16・反対3)	都市経済委員会	R8.3.18
第14号議案	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	全会一致可決	—	R8.3.2
第15号議案	指定管理者の指定について(高架下周辺施設等)	//	都市経済委員会	R8.3.18
第16号議案	市道路線の廃止について	//	//	R8.3.18
第17号議案	市道路線の認定について	//	//	R8.3.18
第18号議案	大野城市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致同意	—	R8.3.2
第19号議案	専決処分した事件の承認について(令和7年度大野城市一般会計補正予算(第10号))	全会一致承認	—	R8.3.2
第20号議案	令和7年度大野城市一般会計補正予算(第11号)について	全会一致可決	予算委員会	R8.3.18
第21号議案	令和7年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について	//	//	R8.3.18
第22号議案	令和7年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第4号)について	//	//	R8.3.18
第23号議案	令和7年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)について	//	//	R8.3.18
第24号議案	令和7年度大野城市水道事業会計補正予算(第4号)について	//	//	R8.3.18
第25号議案	令和7年度大野城市下水道事業会計補正予算(第4号)について	//	//	R8.3.18
第26号議案	令和8年度大野城市一般会計予算について	賛成多数可決 (賛成13・反対6)	//	R8.3.18
第27号議案	令和8年度大野城市国民健康保険特別会計予算について	全会一致可決	//	R8.3.18
第28号議案	令和8年度大野城市介護保険特別会計予算について	//	//	R8.3.18
第29号議案	令和8年度大野城市後期高齢者医療特別会計予算について	//	//	R8.3.18
第30号議案	令和8年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計予算について	//	//	R8.3.18
第31号議案	令和8年度大野城市水道事業会計予算について	//	//	R8.3.18
第32号議案	令和8年度大野城市下水道事業会計予算について	//	//	R8.3.18
第33号議案	大野城市監査委員の選任について	全会一致同意	—	R8.3.11
第34号議案	令和7年度大野城市一般会計補正予算(第12号)について	全会一致可決	予算委員会	R8.3.18
第35号議案	令和8年度大野城市一般会計補正予算(第1号)について	//	//	R8.3.18
第36号議案	令和7年度大野城市一般会計補正予算(第13号)について	//	//	R8.3.18

### 賛否の分かれた議案

令和8年第2回3月定例会 審議結果

議員氏名	自民大野城					公明党				未来フォーラム		市民クラブ		自民まどか		自民御笠		松田美由紀	
	山上高昭	平井信太郎	平田不二香	岡部かおり	原田真光	大塚みどり	井上正則	河村康之	神田徳良	松崎百合子	永利恭子	河野敏生	松崎正和	福澤信光	森和也	井福大昌	関井利夫		中村真一
第8号議案	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	退	退	○	○	○	○	○	○	○
第13号議案	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
第26号議案 (修正動議)	○	-	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●
第26号議案 (原案)	●	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○

(○：賛成、●：反対、退：退席、-：議長は表決に加わらないため)

### 一 陳情関係 (全議員に写しを配布)

陳情第1号	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情
陳情第2号	mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業中止の意見書提出を求める陳情書

### 議会の動き

**2月19日** 本会議(1日目)

全員協議会  
広報委員会

**3月2日** 本会議(2日目)

総務政策委員会  
**3日** 福祉教育委員会  
都市経済委員会

**4日~9日** 予算委員会

**11日** 本会議(3日目)

予算委員会

**12日** 本会議(4日目)

**16日** 今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会視察(大野中学校)

**18日** 議会運営委員会

本会議(5日目)  
予算委員会  
全員協議会

**19日** 今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会視察(大野南小学校)

**4月3日** 福岡県中部十一市議会議長会(宗像市)

**8日** 今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会

**9日** 福岡県南市議会議長会(宗像市)

**10日** 広報委員会

**15日** 福岡県市議会議長会(大川市)

**17日** 広報委員会

**20日** 今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会

**23日** 九州市議会議長会(佐賀県)

### 次回開催予定 令和8年6月定例会(予定)

- 6月1日(月) 10:00~** 本会議 提案理由説明
- 4日(木) 10:00~** 本会議 質疑・付託
- 5日(金) 10:00~** 総務政策委員会
- 13:30~** 福祉教育委員会
- 8日(月) 10:00~** 都市経済委員会
- 9日(火) 10:00~** 予算委員会
- 15日(月)~16日(火) 9:30~** 本会議 一般質問
- 19日(金) 10:00~** 本会議 報告・討論・採決



### 視察来庁

★ 大野城市「シン・コミュニティ構想について」  
(4月9日 東京都北区)

★ 防災対策事業(地域防災力向上)の取組について  
(5月14日 愛知県小牧市)



### 第26号議案

令和8年度大野城市一般会計予算について（以下、複数案件より抜粋）

予算規模は過去最大の516.7億円となり、暮らしの支援と未来の街づくりに活用する

#### 問 市税収入の見通しは

答 新築増や人口増で数年は増収が続くが、将来の減少は避けられない。好調な今こそ事務事業の「精査・見直し」を徹底し、持続可能な体制を整える。

#### 問 ふるさと納税に頼らない財政運営は

答 寄附金は貴重な財源だが、制度変更等のリスクに備え、依存しすぎない健全な財政基盤の構築に努める。

ペーパーレス化の推進に伴い、会議用タブレット等の導入を行う

#### 問 市庁舎のペーパーレス化の進捗と端末導入計画は

答 現在、資料をPDF化した会議や研修の実施を進めている。これからタブレット約100台を導入し、既存のパソコンと併用しながら、50人規模の会議ができるようにするなどの効率化を図る。

地震時の火災を防ぐ感震ブレーカーや家具転倒防止器具設置の補助を行う

#### 問 補助の上限額は

答 感震ブレーカーは8000円、家具転倒防止器具は6000円を上限とする。

各地区コミュニティ運営協議会へ財政的支援を行う

#### 問 4地区で予算額に差がある理由は

答 各地区の計画に基づき、移動支援や行事など事業規模が異なるため。地域の実情に合わせ、市と協議会が連携して事業内容を決定している。

保育士の確保と定着を目的とした新たな給付制度で、待機児童解消を目指す

#### 問 認可保育所等保育士就職支援給付金の内容は

答 市内の私立認可保育所等に新たに就職した常勤保育士に一時金20万円を支給する。3年勤続を条件に、人材の確保と定着を図る。

ひきこもり専門の相談員を配置し、支援体制を強化する

#### 問 ひきこもり支援の内容と体制は

答 専門員2名を配置し、実態把握を進める。本人や家族との信頼関係を重視し、継続的な支援に取り組む。

高齢者への敬老祝金を、特定の節目年齢に達した方へ贈呈する

#### 問 対象年齢を絞る見直しが必要な理由は

答 将来の高齢者増加を見据え、限られた財源を生活支援や介護予防などへ重点配分するためである。祝金は節目年齢（77・88・99歳以上）に限定するが、祝賀会の充実や地域での見守りを通じ、感謝の意は継続して伝えていく。今後持続可能な支援体制を構築するための見直しであり、市民への丁寧な周知に努める。

総合公園等の中長期改修基本計画に基づき、施設の改修を行う

#### 問 総合体育館の改修内容は

答 空調は「床下空調」を導入し、風の影響を受けにくい競技環境を確保する。床は木製からクッション性の高い「床シート」へ刷新。傷に強く、車椅子スポーツなど活用の幅を広げる。

### 第27号議案

令和8年度大野城市国民健康保険特別会計予算について

令和8年度から国民健康保険税に「子ども・子育て支援金分」が追加・徴収される

#### 問 家計の負担はどう変わるのか

答 支援金は世帯ごとの平等割、加入者1人あたりにかかる均等割、所得に応じて計算される所得割の合算で計算されるが、18歳以下の子どもの均等割はかからない。なお、低所得世帯には軽減制度により負担増が抑えられる。

## 福祉を充実、支え合う補正予算

予算委員会

**第20号議案**  
令和7年度大野城市一般会計補正予算  
(第11号)について(以下、複数案件より抜粋)

物価高騰対策として実施した、シニア世代への「おこめ券」配布事業において対象者数が確定したことに伴い不用額を減額する

**問 おこめ券の配付状況は**

**答** 対象者のうち2万4027人(約99%)へ送付済みで、辞退者は40名。

産後ケアや乳幼児健診・全戸訪問など、子ども相談事業や母子保健事業において不用額を減額する

**問 減額となった要因は**

**答** 子育て世帯ホームヘルプサービス委託料の単価の減額と、出生数が当初見込みを下回る「900人弱」となる見通しであることから、乳幼児健診や赤ちゃん訪問、産後ケアなどの予算を実績に合わせ精査した。

**問 ヤングケアラー調査の手法は**

**答** 小学校5・6年生、中学生は学校のタブレット端末、高校生世代は郵送した紙の調査票等で

の回答を依頼した。現在、集計中である。

福岡県軽自動車税協議会(検査協会へ提出された県内の軽自動車申告情報を集約し、各自治体へ通知する組織)の負担金額確定に伴い減額する

**問 負担金の算出根拠は**

**答** 協議会総予算を県内の軽自動車全台数で割った単価に、本市の登録台数を乗じて算出される。

**第22号議案**  
令和7年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第4号)について  
(以下、複数案件より抜粋)

高齢者を支えるために、社会福祉協議会と連携して実施している住民による課題解決について協議する場「生活支援体制整備協議体」の運営を令和8年度も継続して実施する

**問 具体的な実績は**

**答** 「不燃ごみ等の戸別収集支援」や「ICTを活用した高齢者見守り」等が事業化された。子育て世代を含む協議については、今後検討を行う。

## ハラスメントのない大野城市へ

総務政策委員会

**第2号議案**  
大野城市ハラスメント根絶条例の  
制定について

令和7年3月に第三者調査委員会が認定した5件のハラスメント事案を重く受け止め、市役所及び全市的にハラスメントを根絶するための基本原則を定める

**問 事業所や市民への周知の方法は**

**答** 事業所へはハローワークや労働基準監督署等の関係機関を通じて紹介し、市民へは市報やホームページ等で周知を図る。

**問 市長および副市長の取扱いは**

**答** 市長は議員と同じ取扱いとなり、副市長は職員と同じ取扱いとなる。

**問 具体的なハラスメントを例示しなかった理由は**

**答** さまざまな認知が進むにしたがって、新たな

ハラスメントの言葉が生まれていくものと考え。本条例は基本方針であり、今後本条例に基づき、個別のハラスメントに応じた指針を定めていく。

**第8号議案**  
大野城市国民健康保険税条例の一部を  
改正する条例の制定について

国民健康保険の安定的財政運営のため税率を見直すとともに、国の子ども・子育て支援金制度創設に伴い、他の医療保険と同様に、本市の国保税においても「子ども・子育て支援金分」を新たに課税額として新設する

**問 総所得400万円の世帯(年収560万円、夫婦・子1人)における増額の目安は**

**答** 子ども・子育て支援金分が新設されるものの、その他の課税区分で減となるものもあり、合計で年額6500円程度の増額見込みである。

## 見晴らし最高のキャンプが手軽に

福祉教育委員会

### 第12号議案

大野城総合公園の管理に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について



キャンプ場の貸出し備品について、「市長が別に定める」の文言を追加し、キャンプ初心者の方でも手軽に利用できるよう、テントやタープ、たき火台等のキャンプ備品に加え、



大野城そらもりキャンプ場  
ONOJO SORA×MORI CAMPFIELD

寝袋やランタンなどの宿泊関連備品や鍋などのキッチン関連備品等の貸出し備品の充実を図るもの

**問** 「市長が別に定める」とはどのようなことを定めるのか

**答** 市民の要望に柔軟に応えるために協定の変更で貸出し備品の追加ができるようにすること。

**問** 利用料金はいくらになるか

**答** 親子4人でオートテントサイトを一泊二日で利用した場合、駐車場代やシャワー代等を含めて6400円程度で、その他レンタルするものがあれば上乘せとなる。他のキャンプ場と比べて安価な設定としている。

**問** 近くの民間のキャンプ場との違いは

**答** そらもりキャンプ場には近くのキャンプ場にはない眺望の良さがある。

## 犯罪被害者とその家族に支援を

都市経済委員会

### 第13号議案

大野城市犯罪被害者等支援条例の制定について



犯罪被害者等の支援に関する基本事項及び総合的支援の推進について必要な事項を定めるもの

**問** 支援の対象は

**答** 犯罪の被害者とその家族、親族を想定している。

**問** 支給される見舞金はどれくらいか

**答** 県内の自治体全て同額となっており、遺族見舞金が30万円、重傷病見舞金が10万円の予定である。

### 第15号議案

指定管理者の指定(高架下周辺施設等)について



高架下周辺施設等の指定管理者を指定するにあたり地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの。指定管理者の業務期間は令和9年4月1日から令和24年3月末までの15年間。

**問** インクルーシブ遊具の設置は

**答** 高架下広場の遊具の一つにインクルーシブ遊具を整備する準備が進んでいる。

**問** 事業で得られた収入の取扱いは

**答** 全額事業者(指定管理者)の収入とする。

# 代表質問

～大野城市長の考えを問う～

各会派の  
タイトルにある  
二次元コードから  
映像を見ることが  
できます。



代表質問とは?・・・市長の施策方針及び所信表明等に関して、会派から代表者を立てて質問を行います。

会派名	所属議員	内容
自民大野城	・山上 高昭 ・平井 信太郎 ・平田 不二香	1. 令和8年度施政方針について
自民まどか	・森 和也 ・井福 大昌	
自民御笠	・中村 真一 ・関井 利夫	
公明党	・大塚 みどり ・井上 正則	1. 令和8年度施政方針について
未来フォーラム	・松崎 百合子 ・永利 恭子	1. 施政方針について



映像はこちら

## イキイキと子育ても仕事もできる大野城へ

自民大野城・自民まどか・自民御笠

**問** 市内の認可保育所等に就職した常勤保育士に20万円の一時金を支給する制度を開始するが、保育士不足の解決になるのか

**答** 離職率の高い就職後3年間の勤続要件を設け、保育士の定着を図り、保育士確保と離職防止の両面から、慢性的な保育士不足の解消につなげていく。

**問** 現在働いている保育士等の支援は

**答** 家賃助成による経済的支援や、ICTの導入支援などによる業務負担の軽減に加え、県が実施する巡回支援事業を活用し、職場環境の改善にも取り組んでいる。

**問** カムバック制度については

**答** 過去に保育士としての勤務経験がある潜在保育士を積極的に採用している。また、潜在保育士の再就職についても、離職から一定の期間が経過し、常勤保育士として採用される場合は、今回の一時金の支給対象となる。

**問** 保育所等と小学校の連携は

**答** 市内全ての保育所(園)、幼稚園及び小学校の担当者で研修会を開催し、円滑な引継ぎに関する留意点を協議している。また、保育所(園)長、幼稚園長及び小学校長による合同会議を毎年開催し、保育所(園)、幼稚園の見学や小学校1年生の授業を参観し、入学後の児童に対する指導方法などを協議している。

**問** 子育てしやすい環境づくりについては

**答** 経済的負担の軽減として、保育料無償化の範囲や子ども医療費助成の拡充に向けた検討を進めていく。また、公立保育所で、医療的な支援が必要な子どもの受入れを開始する。





映像は「ひびき」

## 堤市長へ、令和8年度施政方針を問う！

公明党

**問** 本市の基金の運用実態と運用利益は。その他、新たな財源の確保についての考え方は

**答** 令和6年度末の基金残高は約163億円で、内訳は債権約107億円と預金約56億円である。令和7年度の基金の運用益は約9800万円を見込んでいる。今後も安全かつ収益性の高い債権を保有し、確実な財源確保に努める。

**問** 本市が目指す「不登校を生まない学校」とは、どのような学校か

**答** 児童生徒自身がありのままの自分が尊重されていると実感でき、楽しいと思える授業を実践することが必要である。児童生徒が自分の成長を感じることができる学校づくりを進めていく。

**問** 障がい者が「親亡き後」に本市で安心して暮らす為の支援は

**答** 成年後見制度や様々な福祉サービス等を活用しながら、本人に寄り添った支援が重要である。また、グループホーム等について日頃から市内や

近隣の情報収集により、障がいの程度に応じたグループホーム等につなげる支援を行っている。今後とも誰もが安心して暮らしていけるよう努める。

**問** 災害時のキャンピングカーの活用協定を民間企業と結び、被災支援としての活用だけでなく、引きこもりの当事者への支援として、人目を気にせず外出が出来るよう活用できないか

**答** 引きこもりの状態にある方は、個々の状況や抱えている問題がそれぞれ異なるため、多様な支援の選択肢を持つことは重要である。引きこもり支援策については、キャンピングカーの活用を含め今後検討する。



映像は「ひびき」

## みんな違って みんないい！共に生きるまちへ

未来フォーラム

**問** 少人数学級に向けた更なる推進の計画は

**答** 中学校の学級編制を、令和8年度から1学年、2学年、3学年の順に年次的に35人学級に引き下げる予定である。

**問** 夏休み中のランドセルクラブで提供している昼食について、生活が厳しい家庭への就学援助や補助の対象にできないか

**答** ランドセルクラブのお弁当注文は、利用者に限られたサービスであることなどから現状では補助等は行っていない。

**問** 国民健康保険税の増税理由は

**答** 今回税額が増加する主な理由は、新たに「子ども・子育て支援金納付金課税分」を追加することによるものである。

**問** 訪問介護事業所への支援策は

**答** 令和8年度に第10期介護保険事業計画の策定を進めていく中で、介護サービス事業所への支援について取り組むべき施策を検討していく。

**問** ジェンダー平等のまちづくりは

**答** 性別に関わらず、誰もが個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指して様々な取組を進める。性暴力など様々な困難を抱える女性への支援についても相談体制の充実や支援の強化に一層取り組んでいく。

**問** 水循環・ため池保全の考えは

**答** 水環境の保全は、市民生活や農業、自然環境の保護につながると考える。今後もため池を含む水環境の保全について適切な管理に努めていく。



# ～これからの大野城を問う～

## 一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。

各議員の  
タイトルにある  
二次元コードから  
映像を見ることが  
できます。



氏名	件名
平田 不二香	★インクルーシブ社会の実現を目指して ・放課後の児童の居場所としての学校施設の在り方について
福澤 信光	★ナチュラルビズの導入について
森 和也	★サービス・助成制度について ・水不足の深刻化、節水対策について
永利 恭子	・住民票の職権削除と居住実態が把握できない児童について ★子育て支援について
中村 真一	★パブリックコメントについて
河野 敏生	・学校現場のハラスメント対策について ★大野城市の教育の最大の課題解決のために ・道路交通法改正における自転車の歩道通行について
大塚 みどり	★本市のユニバーサルデザインによる歩行空間の整備について ・高齢者のウイルス感染予防について
神田 徳良	・高齢者移動支援について ★学校における防犯カメラの設置について
原田 真光	★災害対策について ・収入増加の為の施策について
中村 慎一郎	・投票率向上のための施策について ・市のプロモーションについて ★就職氷河期世代の挑戦を後押しする、大野城市独自の創業支援制度の創設について



映像はこちら

### 障がいのある方の市役所内での活躍推進を！

平田 不二香



**問** 第二次障がい者活躍推進計画の策定にあたり  
明らかになった、これまでの成果と課題は

**答** 職員個々の特性に応じた配置の調整が進められ、多目的トイレの整備等、職場環境が改善された。課題は職員数の急激な増加に対し、障がい者の雇用が追いつかず、法定雇用率を満たしていないことである。

**問** 本市には福祉の枠を越えた形で障がい者雇用に成功している事業者がある。こうした企業から助言や客観的なアセスメントを得てはどうか

**答** 全ての職員が働きやすい職場を目指す必要がある。他自治体や民間企業等での働き方に関する事例を参考に、調査研究を進める。

**問** 障害者優先調達推進にあたり、物品中心の支援型から、役務を通じて就労機会を創出する業務創出型へと発展させていけないか

**答** 市役所内の各課への聞き取りや働きかけを強化し、障がい者就労施設等に対して発注内容の多様化に向けて協議を進め、発注の拡大に努める。

**問** 本計画を雇用率達成のための計画にとどめず、障がいのある方が市役所の中で活躍できる職場づくりを今後どう進めるか

**答** 計画に掲げた取組を通して、障がいのある職員一人ひとりがやりがいを持って働くことのできる環境づくりにさらに取り組み、合理的配慮に基づく職場環境の改善に努めながら、障がい者雇用の促進と定着を図る。





映像は「15」

## ナチュラルビズの導入を

ふくさわ のぶみつ  
福澤 信光



**問** ナチュラルビズについて、本市ではどのような見解を持っているか

**答** 職員が自主的に働きやすい服装を選択するナチュラルビズは、省エネルギーや温室効果ガスの排出量の削減に貢献する取組であると考えている。

**問** 今回提案するナチュラルビズを通年で取り入れることについて、市の見解は

**答** 今後、職員が省エネを意識した快適で働きやすい環境づくりを目指していく上で、このナチュラルビズは効果的な取組であると認識しているため、導入に向けて前向きに検討する。

**問** 現代の職場にふさわしい服装を本市でも取り入れる考えはないか

**答** 近隣自治体の状況も参考にしながら、来庁者に不快感を与えない服装であるか、TPOや礼節をわきまえた服装であるか、また、窓口等を含めて、全ての部署で導入できる服装であるかなど、様々な観点を踏まえて検討していく。



映像は「15」

## 子育て世代にやさしいまち、選ばれる大野城

もり かずや  
森 和也



**問** 子育て支援施策を、移住・定住の促進につながる施策として位置づけているか、堤市長の基本的な考えは

**答** 子育て支援策の充実は、定住の促進につながることも、子育てしやすいまちとしての魅力を高めることで、新たな子育て世代の移住を促す効果も期待できるものと考えている。

**問** 経済的負担軽減だけではなく、育児に関する見守りの効果もあるので、子育て世帯へのおむつの無償支給をぜひ検討してもらいたいが、いかがか

**答** 安心して子育てができる環境をさらに充実していく必要があると考えており、先進自治体の取組事例も参考にしながら、おむつの無償支給を含め、実効性ある子育て支援策を検討していく。

**問** 今後、子育て支援策を人口減少対策や大野城市の魅力向上につなげていくため、大野城市なら

ではの子育て支援の方向性をどのように描いていくのか、堤市長の考えは

**答** 子育て世代に優しいまちとしての評価を定着させ、本市を選んでいただける方を増やし、人口減少対策や本市の魅力向上につなげていく。今後は、子どもを安心して産み育てられる環境をさらに充実させるため、保育料無償化の範囲拡大や、子ども医療費の助成拡充などの検討を進め、本市に必要な子育て支援施策を積極的に推進する。



「明石市おむつ定期便」  
月に1回 おむつなどの「赤ちゃん用品」を無料で  
宅配するサービス



映像は「まちの

## 就学援助を必要とする子どもたちがいます

ながとし きょうこ  
永利 恭子

### 問 就学援助制度とはどのような制度か

**答** 学校教育法第19条において、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」と規定されており、この規定に基づき援助を実施している。支給項目は、新入学用品費、学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、PTA会費などで、保護者からの申請に基づき要件の審査を行い援助している。

### 問 就学援助の認定基準額と、生活保護の最低生活費の関係は

**答** 就学援助の認定基準額は、生活保護の認定基準である最低生活費の額を準用し算定している。令和8年度以降については、生活保護の最低生活費の額に1.3の認定基準係数を乗じ、そのほかの諸要件を合計した額と比較して、申請世帯の総所得等の合算が同額かまたは少ない場合に、就学援助の支給対象世帯と判定している。

### 問 全児童生徒数、生活保護受給世帯の児童生徒数、就学援助を申請した児童生徒数、実際に就学援助を受けている児童生徒数との割合は

**答** 令和6年5月1日の全児童生徒数は、9488人。令和6年度末時点の生活保護受給世帯の児童生徒数は66人で、全児童生徒数に対する割合は0.7%。令和6年度分の就学援助を申請した児童生徒数は1589人で、割合は16.7%、実際に就学援助を受給した児童生徒数は1347人で、割合は14.2%である。



映像は「まちの

## 市民の声が「届く」パブリックコメントとは

なかむら しんいち  
中村 真一

### 問 パブリックコメントの過去3年間の実施件数と意見提出の推移は

**答** 実施件数は令和4年度4件、令和5年度11件、令和6年度6件で、意見数は令和4年度48件、令和5年度55件、令和6年度59件である。意見が最も多く寄せられたものは1案件あたり29件だが、意見が全くなかった案件もある。

### 問 全く意見が出ない案件の要因は

**答** 計画等の案件ごとに市民の関心や興味の程度が異なることが考えられる。

### 問 周知方法の現状は

**答** 事前に市ホームページや市広報紙で告知し、所管課の窓口や市役所3階の行政資料室、市役所1階ホール、各コミュニティセンター、まどかぴあで閲覧できる。併せて、市ホームページにも掲載している。特定の市民層を主な対象とする計画については、すこやか交流プラザや青少年の居場所ユープレなどにも閲覧場所を設置している。

### 問 LINEでの意見提出を可能にできないか

**答** 他自治体の取組事例も参考に、LINEを含め、効果的な意見の提出方法を検討していく。

### 問 高齢者から若い世代、外国人など幅広い市民が参加しやすいような取組は行っているか

**答** 従来の方法に加え、SNSでも告知するとともに、LINEによる提出も含め、より効果的な意見の提出方法について検討していく。

### 問 市民からの意見が施策に反映された事例などはあるか

**答** 令和6年度に実施した6件の案件に対して、合計59件の意見が提出され、そのうち32件が計画等の内容に反映された。





映像は「115」

## 市が、子どもたちに求めている「学力」とは

かわのとしお  
河野 敏生



**問** 全国学力・学習状況調査で市の小中学生の平均が全国平均より上回ったと書かれた「大野城市の教育(特別号)」が1月に全戸に配付された。私は教職員時代、「過去問対策を一切することはならん、ふだんの授業で勝負せよ」と言われた校長の言葉に強く影響を受けたが、市の教育委員会が求める学力とは何か。過去問対策に代表される点数競争に勝ち抜く学力なのか

**答** 学力は認知能力と非認知能力の大きく二つに分けて捉えることができる。

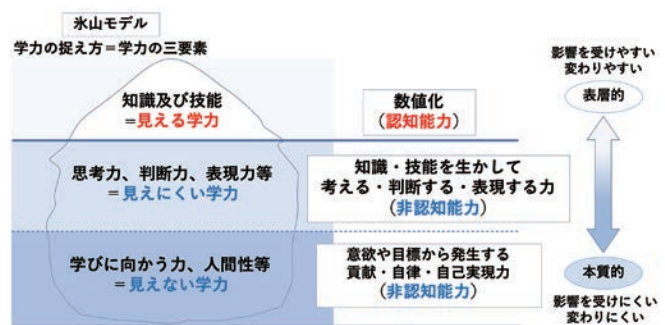
冰山モデルで例えると、認知能力は試験など数値で測ることができる知識及び技能、つまり見える学力を指す。

一方、水面より下の2つの非認知能力は表層に出ていないが本質的な能力として、思考力、判断力、表現力等と、さらに深層には目標に向かう力や意欲から発生する貢献や自律心、自己実現力などの心の力がこれに当てはまり、表面から見えにくいために数値で評価しづらい。

この本質的と言われる能力は、外部からの刺激

により容易に変化するものではないが、日頃からの教師と児童生徒、また児童生徒間の対話や互いの支援を通じて育まれるとされており、豊かな人生や社会性に関わる土台として重要視されている。

教育現場においては知識及び技能を身につけさせることだけでなく、子どもたちの内面に潜む能力を引き出し、そこを伸ばしていく教育環境をつくるのが大切である。



教育委員会説明資料より



映像は「115」

## 誰もが安心な歩道づくり、新技術で実現へ

おかつか  
大塚 みどり



**問** 高齢者や障がい者、子育て世代など多様な歩行者が共存できる「質の高いバリアフリー」をどう具現化するのか、市長の決意は

**答** 大野城市バリアフリー基本構想に基づき、西鉄高架化に伴う駅周辺整備などを進めてきた。今後も新たな技術を積極的に取り入れ、全ての人に優しいまちづくりを推進する。

**問** 車いす利用者の「段差のない安全性」と視覚障がい者の「段差による安全性」という正反対のニーズが交錯する現状を、どう受け止めているか

**答** それぞれの立場により国の基準である段差2cmの評価が異なるという現状を踏まえ、柔軟に対応する必要があると認識している。

**問** 道路改修の現場で、当事者の困りごとや意見を聞いているか

**答** 個別の工事ごとに直接意見を聞く機会はないが、構想策定時に社会福祉協議会や障がい者団体等へ聞き取りを行い、それらの意見を反映させ具体的な構想を策定している。

**問** 歩道と車道の境界ブロックの中央に5mmの突起と左右の異なる傾斜により、「車いすの走行性」と「視覚障がい者の認識しやすさ」を両立した「福岡市モデル」の有効性をどう評価するか

**答** 九州大学と福岡市が共同開発した「福岡市モデル」が導入されていることは把握している。導入自治体の意見を伺い適切に評価する。

**問** 最新技術を導入する考えは

**答** 今後、道路を整備・改良する際は、最新技術を積極的に取り入れる。



【福岡市モデルの境界ブロック】  
中央に高さ5mmの突起がある



映像は「しづら」

## 防犯カメラの設置で学校をより安心して安全に

かんだのりよし  
神田 徳良

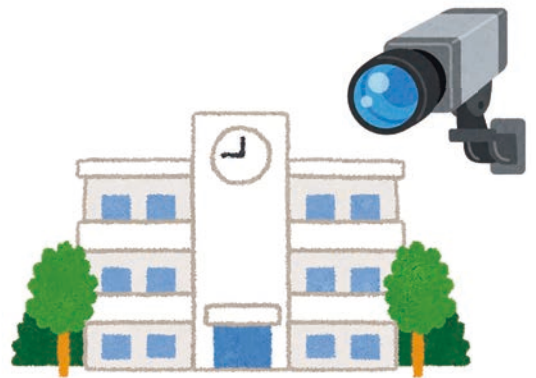


**問** 小中学校の防犯カメラの設置状況はどうなっているか

**答** 学校施設における児童生徒の安全確保のため、市内の全小中学校に設置している。校舎の外壁などに設置し、校門、屋外グラウンド、プール等の様子を撮影している。

**問** 駐車場、駐輪場での車両へのいたづらや、廊下や階段、下駄箱で起こり得る児童生徒間のいじめやトラブルは当事者の証言が食い違うことがあり事実確認が困難である。また、校舎や備品の破壊行為、盗難事件などのリスクに客観的な事実を記録でき、公平な立場での指導や早期問題解決にも防犯カメラの設置は有効である。さらに、廊下や階段へ設置することで自身を守ってくれる安全地帯となり、安心して学校へ行くことにつながると考えられるがいかがか

**答** 校舎内への防犯カメラの設置については、児童生徒や教職員のプライバシー保護の観点に加えて、監視を前提とした設置が児童生徒と教職員の相互の信頼関係を損ねるのではないかという課題があると考えている。まずは、教職員などによる見守り活動の強化や児童生徒に対する安全教育の充実を図り、総合的な防犯体制を整備していく。



映像は「しづら」

## 災害に強いまちづくり

はらだまさみつ  
原田 真光



**問** 本市の小中学校15校のうち11校では避雷針が設置されていない。落雷の人的及び物的被害防止のために15校全てに設置すべきと考えるが市の見解は

**答** 避雷針の設置状況については、建築基準法に規定されていない建物の高さが20メートル未満の11の小中学校には避雷針を設置していない状況である。今後、設置の必要性や効果について、ほかの自治体の事例や状況を参考にしながら調査研究を進めていく。

**問** 擁壁\*の所有者は個人であることが多く、その修繕や作り替えには数百万円から1000万円単位の多額の費用がかかるため、対策が後回しにされがちである。しかし、一度崩壊すれば、所有者だけでなく、近隣住民や道路を通行する市民の命を奪いかねない。公共安全を守るという観点から、擁壁の補強工事等への助成が必要だと考えるが市の見解は

**答** 擁壁や崖の崩壊は、居住者や周辺住民の安全に影響を及ぼす可能性があるため、その対策を講じる必要があると認識している。具体的な助成制度については擁壁に関する条例を所管する福岡県との連携を図るとともに、他自治体の事例や国の制度を参考にしながら、必要性や費用対効果、財政的負担などの観点から調査研究を進めていく。

\*擁壁とは、隣の宅地等との高低差がある場合に設けられる鉄筋コンクリートや石造りなどでできた土地の崩壊を防ぐ構造物のこと



イメージ画像



いっしょに歩こう

## 就職氷河期世代に起業のチャンスを!

なかむら  
中村

しんいちろう  
慎一朗



**問** 昨年9月に実施された中小企業実態調査における市内事業所を対象としたアンケートの状況について

**答** アンケートの結果からは本市の中小企業が抱える主な課題として、資金繰り、人手不足、デジタル化や事業承継などの課題が見えてきた。

**問** 太宰府市が独自に実施している事業者の創業及び事業支援について、本市では行っているか

**答** 現在、本市では、太宰府市が行っている家賃補助のような独自の創業支援事業は行っていない。

**問** 就職氷河期世代に対する起業支援の取組が、他自治体で国の交付金等を活用して実施されているが、市として把握しているか

**答** 兵庫県や群馬県の自治体における起業支援の事例のほか、各地で就職氷河期世代の活躍を後押しする様々な取組が実施されたと承知している。

**問** 本市においても就職氷河期世代を対象とした起業支援、創業支援、また事業承継支援を検討できないか

**答** 就職氷河期世代が直面した社会的困難や不公平感、また現在抱えている課題については、本市としても重要な社会問題として認識している。今後、伴走型起業支援、創業支援、事業承継支援を進めていく中で、国の動向や先進自治体の事例を注視し、市商工会や福岡県事業承継・引継ぎ支援センターとも連携を図りながら、就職氷河期世代を対象とした支援についても調査研究を進めていく。



## 今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会 配膳室と教室の視察へ!

大野中学校



大野南小学校



学校給食の現状や今後のあり方について調査するため、3月16日に大野中学校、3月19日に大野南小学校にて配膳、児童生徒の喫食状況及び下膳時の状況を視察しました。今後も引き続き調査を進めていきます。

これまでの特別委員会の会議の内容は  
大野城市議会ホームページ「特別委員会」(右の二次元コード)から  
確認することができます。



# 1月臨時会

令和8年1月臨時会を1月20日（火）に開催  
1つの案件を審議し、可決しました。  
審議結果の採決の様様は大野城市議会ホームページ「令和8年第1回1月臨時会」  
(右の二次元コード) から映像を見ることができます。



## 審議結果一覧

令和8年1月臨時会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会	議決月日
第1号議案	令和7年度大野城市一般会計補正予算(第9号)について	全会一致可決	予算委員会	R8.1.20

## 1月臨時会 委員会レポート

### 物価高対策、市独自の上乗せ決定

予算委員会

#### 第1号議案

令和7年度大野城市一般会計補正予算  
(第9号)について (以下、複数案件より抜粋)



物価高騰対策の財源として、国からの交付金  
が決定するまでの間、財政調整基金から約8  
億8000万円を繰り入れる

#### 問 予算投入後の財政調整基金残高は

答 補正後の基金残高は約30億円となる見込み  
である。一時的に取り崩した基金は国からの  
交付決定後に戻し入れる予定である。



物価高対応子育て応援手当として、国の手  
当2万円に市独自で7000円を上乗せし、子  
ども1人あたり2万7000円を支給。ひとり親  
家庭はさらに子ども1人あたり7000円を加  
算する

#### 問 物価高対応子育て応援手当の 支給時期及び申請方法は

答 令和7年9月分の子育て手当受給者には2月10  
日に申請不要(プッシュ型)で支給する。

#### 問 申請不要(プッシュ型)支給対象とならない 人への周知方法や申請は

答 令和7年10月から令和8年3月までの出生児  
や公務員は申請が必要で、ホームページ及び  
広報誌で周知する。



物価高騰対策として、19歳以上の市民1人  
あたり7000円分の電子商品券「おおのジョー  
pay」、または紙の商品券を給付する

#### 問 現金給付ではなく商品券を選択した理由は

答 現金より迅速な支援が可能で、「生活者支援」  
と「市内事業者への経済波及効果」の両立を  
図るためである。

#### 問 電子商品券の二次元コードの発送時期は

答 3月下旬から送付予定である。スマホがない  
場合は、申請により紙の商品券を選択できる。

#### 問 有効期限の有無は

答 国の指示により有効期限を設定。電子商品券  
「おおのジョーpay」は9月末、紙の商品券は  
11月末※を有効期限としている。

※1月臨時会以降、配送の都合により、紙の商品券の  
有効期限は12月末までに変更となっています。

3月定例会

### 大野城市ハラスメント根絶条例が制定されました

全ての人々が不当に権利を侵害されることなく、対等な立場  
でお互いが理解し、認め合い、尊敬し合う街を創り上げ、  
ハラスメントのない公正かつ持続可能な社会を目指すため  
3月定例会において、この条例が誕生しました。

条例全文は大野城市ホーム  
ページ(右の二次元コード)  
から確認できます。





# 作品介绍

## イラスト



(白木原 ミドリさん)



(白木原 ミドリさん)

## 短歌

- 夏雲や四王寺山のふかみどり空青くして天泣光る  
○天泣は うそ泣き涙か いや違う 嬉し涙も はらりと落ちる  
○夏帽子洗つておこうもしかして出会うおばちゃん大好きだから  
(乙金台 泉 満夫さん)
- 華やかに 稚児の姿と ひな祭り 街も彩る 可愛い子らは  
○輝やいて 昇る太陽 活力に 沈む夕陽は 明日への繋ぎ  
(つじけ丘 松野直美さん)
- 鳥の声 雨の上がりを 知らせ来る 自然豊かな 山城の郷  
○大木の 年輪幾重 拝みます 風雪に耐え 刻む自分史  
(乙金台 小野敬子さん)
- フェルトで 試行錯誤 ピカチューを 出来たよるこび 作品ふえて  
○雲流れ 小鳥はとんで どこへ行く 木の葉はゆれて 窓越し眺め  
(白木原 ミドリさん)
- ばあちゃんがひ孫の手をとり歩みゆく 何だかうれしい生きてるうつつ  
○友を待ち何時間でも駅に立つ そんな時代を生きし幸せ  
○拙劣な俳句を作り能登の甥 日日後興に励みてをりぬ  
(若草 高名 穂さん)

## 川柳

- 回転する宇宙飛行士スノボスター  
○オリンピックク なんで出来るの？ すごか技  
○私より 財布の中知る 店員さん  
(大城 山田三子さん)
- どん窓な明日へののぞみ二つ三つ  
○あすなろう 明日なき爺の勇み足  
○ありがどうサヨナラサヨナラ花吹雪  
(乙金台 泉 満夫さん)
- はるなつあきふゆ四王寺山の深緑  
○夏帽子青春讃歌九十路  
(乙金台 泉 満夫さん)
- ほっこりと 今宵は冬至 柚子風呂に  
○心待ち 今か今かと 備花雨を  
○花衣 一足飛びに 梅の香  
(つじけ丘 松野直美さん)

## 俳句

### 作品掲載希望者募集

- 募集作品  
・俳句・川柳・短歌・写真・イラストなど
- 応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、  
議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または  
直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号  
Tel. 580-1938

みなさんからいただいた作品をそのまま紹介します。  
今回は1月～3月に募集した作品です。

- 注意事項  
・未発表のものに限ります(新カナ、旧カナは問いません。)  
・人物の写真については、掲載の了解を得てください。  
・提出された作品は、返却しません。  
・ペンネームでも可とします。  
・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。あらかじめご了承ください。



応募締切  
8月15日号  
掲載は  
6月30日  
まで

小・中学生からの応募もお待ちしております

## あんてな

「慈雨」。普段使わない言葉ですが、昨秋から雨の少ない日が続き節水が呼びかけられていて、ふとこの言葉が浮かびました。

晴れた日は、なにげなく「いい天気ですね。」と挨拶を交しますが、気象予報士は天気予報で「いい天気」とは言わないようにしていると聞いたことがあります。必ずしも、晴れ=いい天気ではなく、例えば農家さんは雨を待っているかもしれないからです。

5月～6月の田植えが行われる頃までには適度な雨が降り、水不足が解消されて、無事に田植えが行われていますように。  
(永利恭子)

## 広報委員会

- |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 委員長  | 河村康之 | 河村康之 | 河村康之 | 河村康之 | 河村康之 | 河村康之 | 河村康之 | 河村康之 | 河村康之 |
| 副委員長 | 中森   | 中森   | 中森   | 中森   | 中森   | 中森   | 中森   | 中森   | 中森   |
| 委員   | 森中   | 森中   | 森中   | 森中   | 森中   | 森中   | 森中   | 森中   | 森中   |
| 委員   | 中永   | 中永   | 中永   | 中永   | 中永   | 中永   | 中永   | 中永   | 中永   |
| 委員   | 中河   | 中河   | 中河   | 中河   | 中河   | 中河   | 中河   | 中河   | 中河   |
| 委員   | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    |
| 委員   | 利    | 利    | 利    | 利    | 利    | 利    | 利    | 利    | 利    |
| 委員   | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    | 野    |
| 委員   | 敏    | 敏    | 敏    | 敏    | 敏    | 敏    | 敏    | 敏    | 敏    |
| 委員   | 一    | 一    | 一    | 一    | 一    | 一    | 一    | 一    | 一    |
| 委員   | 子    | 子    | 子    | 子    | 子    | 子    | 子    | 子    | 子    |
| 委員   | 生    | 生    | 生    | 生    | 生    | 生    | 生    | 生    | 生    |